

けやき会通信

管理栄養士 小池 優佳

櫛会の皆様、はじめまして。2022年4月より関東中央病院 栄養管理室に入職いたしました管理栄養士の小池優佳と申します。今回は自己紹介も兼ねて学生時代の世田谷区との不思議な二つのご縁についてお話したいと思います。

一つ目のご縁は高校生の時です。馬術部に所属しており、馬事公苑には大会などでよく足を運んでいました。高校2年生の時、馬事公苑で行われたインターハイで先輩が優勝しました。とても厳しく怖い先輩でしたが、それ以上に自分にも厳しく誰より努力していたことを近くで見ただため、優勝が決まった瞬間、自分のことのようにうれしかったことを覚えています。私自身、怪我で選手として活動するよりも選手や出場馬を補助するマネージャーとして過ごす時間の方が長かったのですが、人を支え、ともに結果を受け止めるという経験は管理栄養士を目指すきっかけの一つとなりました。馬事公苑には高校生時代の青春と将来への夢が詰まった思い出の場所です。

二つ目のご縁は大学生の時です。管理栄養士を取得するために必要な臨床実習を関東中央病院で行いました。大学入学当初は病院への就職を全く考えていませんでした。しかし実習を通じて、数値の改善だけでなく患者様の疾患や食事療法に対する悩みを取り除き、前向きに取り組んでいただくために食事支援を行うことも管理栄養士として重要な役割の一つであると学びました。間近で見た患者様の心と向き合う管理栄養士に憧れを抱き、病院へ就職することを決意しました。関東中央病院は今の私と管理栄養士としての志を形作った大切な場所です。

これまで櫛会では旬の食材を使用した食事やメディアで話題の食事など様々な昼食を提供して参りました。過去にはバイキング形式での食べ方講座も行いました。皆様、思い出に残る食事はありますか？コロナ禍という状況により現在は中止していますが、皆様が食事療法を行ううえで役に立つような、そして昼食が楽しみになるような献立を考えていきます。ぜひご期待ください！

大学生時代に憧れた先輩方のように患者様に寄り添い、心と向き合う管理栄養士になれるよう精進して参ります。まだまだ未熟ではありますが、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。9月のレクチャーは私が担当する予定です。櫛会の皆様にお会いできる日を心待ちにしております。

